

科目分類	一般教養科目 人間と社会			開講時期	1年 後期	
授業科目	国際理解入門					
選択／必修	選択	単位数(時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	吉田 三郎					
メールアドレス	s-yoshida@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし。 事前連絡すること。			

授業目的	国際理解に必要な知識・技能を学ぶことにより、国際理解能力を高める。
授業概要	現代はグローバル社会と呼ばれ、このグローバル社会では、国際理解の能力が益々要求されるようになる。本授業では、国際理解に必要な知識・技能を異文化理解のプロセスや実際の事例から学ぶとともに、世界市民としての資質とは何かについての理解を深める。
授業内容	第1回 オリエンテーション 文化とは何か 第2回 国際理解の基礎としての異文化理解 第3回 文化理解とカルチャー・ショック 第4回 文化摩擦を生む原因 ステレオタイプ 第5回 文化相対主義と価値観の違い クラックホーン・モデル 第6回 異文化間コミュニケーションのルール 間の取り方と話し手の交代 第7回 文化摩擦の実際(1) 文脈の重要性 第8回 文化摩擦の実際(2) 集団主義と個人主義 第9回 文化摩擦の実際(3) 異文化に慣れる、説明する 第10回 文化摩擦の実際(4) 差異を楽しむ、アサーティブコミュニケーション 第11回 国際理解に必要な技能(1) 外国語の学習から 第12回 国際理解に必要な技能(2) 聞く力と伝える力 第13回 国際理解とグローバルイシュー 交渉する力 第14回 国際理解とグローバルシティズン 異文化コミュニケーションスキル 第15回 まとめ 第16回 テスト
教科書 参考書等	教科書：中村良廣著石丸暁子編『自発学習型 異文化コミュニケーション入門ワークブック』松柏社 (その他適宜プリント教材を用いる。) 参考書：佐野正之他著『異文化理解のストラテジー』大修館書店 Kobayashi, J. & Alter, J. B. <i>Coping with Culture Shock</i> . Seibido.
成績評価 基準・方法	試験(80点)並びに授業への参加状況(20点)
履修要件	特になし
留意事項 その他	授業は予習を前提とするので、教科書、参考図書、配布資料によく目を通しておくこと。